

# 平成19年度 事業報告

財団法人 全日本軟式野球連盟

# 平成 19 年度事業報告

## 1. 評議員の変更

支 部	旧評議員	→	新評議員
北海道	扨 野 誠	→	渡 部 弘 道
大分県	伊 藤 忠 昌	→	橋 本 英 二

## 2. 会議関係

会 議	開催日	於
理 事 会	19.4.11	全 軟 連
〃	19.12.5	〃
〃	20.2.13	京 都
常 務 理 事 会	19.10.25	全 軟 連

会 議	開催日	於
技 術 委 員 会	19.10.26-28	全 軟 連
技 術 委 員 会	20.2.14	京 都
〃	20.2.15	〃
公 認 会 計 士 監 査	20. 1/16-18	全 軟 連
連 盟 監 事 監 査	20.1.21	〃

### 3. 支部・登録チーム

一般(社会人).....  
 少年部(中学生).....  
 学童部(小学生).....  
 大学協会 .....  
 専門学校 .....  
 還暦連盟 .....

支部数 ..... 50  
 末端支部数 ..... 973  
**36,845** チーム  
**5,316** チーム  
**14,968** チーム  
**491** 校  
**225** 校  
**416** チーム

} **57,129** チーム

支 部	一 般	少 年		計
		少年部	学童部	
北海道	2,058	162	1,029	3,249
青 森	200	169	276	645
岩 手	522	178	292	992
宮 城	489	129	356	974
秋 田	395	15	248	658
山 形	147	107	165	419
福 島	611	314	85	1,010
茨 城	1,007	224	290	1,521
栃 木	2,000	164	412	2,576
群 馬	1,041	28	321	1,390
埼 玉	1,116	246	769	2,131
千 葉	990	418	629	2,037
東 京	3,000	50	1,500	4,550
神奈川	2,100	46	924	3,070
山 梨	197	18	154	369
新 潟	464	16	335	815
長 野	1,005	149	250	1,404
富 山	501	77	158	736
石 川	213	89	157	459
福 井	276	6	131	413
静 岡	1,027	241	292	1,560
愛 知	3,005	340	760	4,105
三 重	390	159	175	724
岐 阜	1,269	207	510	1,986
滋 賀	229	74	231	534

支 部	一 般	少 年		計
		少年部	学童部	
京 都	901	56	378	1,335
大 阪	2,673	49	405	3,127
兵 庫	2,010	337	458	2,805
奈 良	323	0	207	530
和 歌 山	187	9	348	544
鳥 取	220	28	154	402
島 根	187	53	131	371
岡 山	330	4	140	474
広 島	1,043	64	179	1,286
山 口	568	11	154	733
香 川	279	68	132	479
徳 島	181	71	132	384
愛 媛	346	122	68	536
高 知	250	55	95	400
福 岡	752	193	347	1,292
佐 賀	268	83	158	509
長 崎	190	138	63	391
熊 本	333	164	261	758
大 分	200	124	200	524
宮 崎	204	16	146	366
鹿 児 島	435	29	98	562
沖 縄	713	16	265	994
<b>合 計</b>	<b>36,845</b>	<b>5,316</b>	<b>14,968</b>	<b>57,129</b>
前年比	-428	393	-366	-401

#### 4. 競技会関係（主催大会）

下記の通り開催し、無事終了した

大会名	会期	会場	参加 チーム数	優勝	
天皇賜杯 第 62 回全日本軟式野球大会	10月12日(金) ～17日(水)	別府市他	56	奈良・佐藤薬品工業株式会社	
高松宮賜杯 第 51 回全日本軟式野球大会	1部 10月5日(金) ～8日(月)	福井市他	32	福岡・(株)福岡銀行	
	2部 9月14日(金) ～17日(月)	和歌山市他	32	福岡・アクセス・ジャパン1	
高円宮賜杯 第 27 回全日本学童軟式野球大会 マクドナルド・トーナメント	8月4日(土) ～9日(木)	水戸市他	51	福岡・庄内ジャガーズ	
第 24 回全日本少年軟式野球大会	8月13日(日) ～16日(木)	横浜スタジアム	16	石川・星稜中クラブ	
第 62 回国民体育大会 (わか杉国体)	一般A	10月6日(金) ～9日(月)	大仙市	16	鳥取・鳥取三洋電機
	一般B		横手市	16	京都・スーパードラゴンズ
	成年		仙北市	12	山口・山口県選抜
第 29 回 東日本軟式野球大会	1部 5月25日(金) ～28日(月)	袖ヶ浦市他	28	宮城・PINK KONG	
	2部 6月1日(金) ～4日(月)	甲府市他	28	愛知・畔柳工業	
第 28 回 西日本軟式野球大会	1部 5月11日(金) ～14日(月)	宇和島市他	25	香川・四国明治乳業クラブ	
	2部 6月29日(金) ～7月2日(月)	久留米市他	25	福岡・アクセス・ジャパン1	
水戸市長旗 第 15 回東日本軟式野球選手権大会	11月2日(金) ～6日(火)	水戸市他	28	愛知・株式会社 ニッセイ	
第 11 回 西日本軟式野球選手権大会	11月9日(金) ～12日(月)	佐伯市他	26	大阪・大阪市信用金庫	
第 52 回 中部日本都市対抗軟式野球大会	11月9日(金) ～12日(月)	碧南市他	13	富山・武内プレス工業(株)	
日本スポーツマスターズ 2007	9月14日(金) ～17日(月)	大津市他	16	兵庫・兵庫ドリームス	
第 29 回 全国中学校軟式野球大会	8月19日(日) ～22日(水)	秋田市	16	沖縄・嘉手納中学校	
第 29 回 全国スポーツ少年団軟式野球交流大会	8月7日(月)～ 10日(金)	札幌市他	16	福島・常磐軟式野球スポーツ少年団	

#### 国体総合成績（天皇杯得点）

1位	秋 田 県	82 点	2位	山 口 県	74 点
2位	沖 縄 県	74 点	6位	岩 手 県	66 点
2位	京 都 府	74 点	6位	静 岡 県	66 点
2位	鳥 取 県	74 点	6位	新 潟 県	66 点

## 5. 競技力向上事業

名 称	期 日	場 所	参 加 者	修了者	
北海道・東北地区 技術指導員研修会	3月3日(土)～2日間	福島県・福島市	審判技術指導員	15名	
関東地区 技術指導員研修会	3月3日(土)～2日間	神奈川県・厚木市	審判技術指導員	19	
北信越・東海地区 技術指導員研修会	3月3日(土)～2日間	愛知県・名古屋市	審判技術指導員	20	
近畿・中国・四国地区 技術指導員研修会	3月3日(土)～2日間	高知県・高知市	審判技術指導員	36	
九州地区 技術指導員研修会	3月2日(土)～2日間	大分県・大分市	審判技術指導員	18	
技術研修員講習会	2月24日(土)～3日間	愛知県・名古屋市	審判技術研修員	40	12名

ブロック講習会	ブロック	会期	会場	受講者
	北海道	5.11～3日間	苫小牧市	30名
	東北	3.16～3日間	福島	35
	関東	3.17～3日間	千葉	49
	北信越	10.19～3日間	新潟	37
	東海	11.17～3日間	愛知	23
	近畿	11.23～3日間	和歌山	31
	中国	3.23～3日間	鳥取	37
	四国	10.12～3日間	徳島	21
九州	3.16～3日間	宮崎	16	
指導員研修員数	北海道、栃木、東京、神奈川、愛知、大阪、兵庫各5名(一般登録2千以上) 茨城、群馬、埼玉、千葉、長野、静岡、岐阜、京都、広島各4名(一般登録1千以上)他各3名			

名 称	期 日	場 所	参加者
平成19年度 (財)日本体育協会 公認コーチ養成専門科目講習会	11月19日(月)～25日(日)	ホテルワイナリーヒル 志太スタジアム	29名

## 6. 職業野球退団者の本連盟復帰者

11 支部より 15 名の申請があり、資格審査の結果全員復帰を認めた。平成 19 年 12 月末までの復帰者総計 359 名。(40 歳以上も含む)

NO	支部	氏名	退団球団	NO	支部	氏名	退団球団
346	香川	境 貞治	香川オリブガイズ	354	兵庫	板倉 康弘	オリックスブルーウェーブ
347	茨城	高梨 篤	高知ファイティングドッグス	355	東京	千葉 英貴	横浜ベイスターズ
348	東京	於保 浩己	千葉ロッテマリーンズ	356	広島	山崎 賢太	中日ドラゴンズ
349	香川	澁谷 幸春	北海道日本ハムファイターズ	357	神奈川	山本 賢寿	読売巨人軍
350	長野	新井 利尚	香川オリブガイズ	358	島根	清水 清人	中日ドラゴンズ
351	福岡	田中 総司	福岡ダイエーホークス	359	新潟	伊藤 健	新潟アルビレックス
352	福岡	矢野 修平	広島東洋カープ	360	埼玉	荒川 祐輔	La New ベアーズ
353	兵庫	福沢 卓宏	中日ドラゴンズ				

## 7. 表彰関係

### (1) 表彰委員会規程による表彰

19 年度の功労者（13 名）の皆様を本評議会の席上にて表彰する。

申請	人員	受賞者名
北海道	1 名	平野 芳雄（北海道）
東北	2	工平 貴夫（山形） ・ 金浜 文雄（青森）
関東	2	梅田 勝利（東京） ・ 松野 年一（茨城）
北信越	2	阿部 和好（新潟） ・ 西澤 茂芳（長野）
東海	1	市田 紀夫（静岡）
近畿	2	篠原 勇（京都） ・ 成富 亘（奈良）
中国	1	吉田 学（岡山）
四国	1	西村 安久（高知）
九州	1	仁位 次治（佐賀）
計	13	

- (2) 平成 19 年度第 57 回日本スポーツ賞 ……………佐藤薬品工業株式会社（奈良県）  
競技団体別最優秀賞

## 8. 助成金関係

(1) 選手強化事業交付金(19年第1回分)	500,000円	JOC
(2) 公認コーチ養成(19年分)	1,491,000円	日体協
(3) 国体派遣役員旅費	2,565,435円	〃
(4) スポーツ指導者養成事業交付金	30,000円	〃
(5) スポーツ振興基金(18年分)	1,500,000円	独立行政法人日本スポーツ振興センター

## 9. 寄付金関係

連盟及び少年野球振興会

社名・団体名	全軟連	少年野球振興会(参考)
(財)ミズノスポーツ振興会		1,500,000
(財)日本高野連・朝日新聞社		1,000,000
(財)日本高野連・毎日新聞社		1,000,000
株式会社 エス・エス・ケイ	1,000,000	500,000
(株) ア シ ッ ク ス		500,000
ヤ ン グ (株)		1,000,000
ナガセケンコー株式会社		300,000
株式会社共同写真企画	1,000,000	
(株)ベースボールマガジン社※		1,000,000
日 本 シ ャ フ ト (株)	3,000,000	
(株)アルファ SHIPPING	100,000	
合 計	5,100,000	6,800,000

※メモラビリア商品「BBM オーセンティックコレクション」売上金の一部

## 10. 協賛金関係

- (1) 日本マクドナルド(株)より全日本学童大会の全国大会、支部大会、マクドナルドカップ大会を実施した支部、ブロックの他、全日本少年野球振興会へ協賛を受けた。又、全日本学童全国大会優勝チームが参加した「香港 2007 ベースボールチャンピオンシップ」への協賛を受けた。

総額 52,557,500円

- (2) 全国労働金庫協会より「ろうきん杯」実施支部への助成金として、全日本少年野球振興会へ協賛を受けた。総額 2,940,000円。
- (3) 全国新聞社事業協会より全日本学童大会に 2,000,000円の協賛を受けた。
- (4) ミズノ(株)より全軟連に 500,000円の協賛を受けた。
- (5) (社)日本野球機構より「NPB12 球団ジュニアトーナメント」への協力に対し、500,000円の協賛を受けた。

※ 横浜市教育委員会より全日本少年大会に助成を受けた。

※ (財)水戸市スポーツ振興協会より、無償でフェンス、テント、収納庫の保管・管理の支援を受けた。

## 1 1. 交付金関係

(1) マクドナルド助成金

47 支部に対し、総額 14,810,600 円を交付した。

(2) 公認用具普及費

イ. 9 ブロックに対し、総額 2,969,000 円を交付した。

ロ. 47 支部に対し総額 3,911,700 円を交付した。

ハ. 関係団体に対し総額 3,452,200 円を交付した。

参考 少年野球振興費

全日本少年野球振興会より、47 支部および 9 ブロックに総額 12,787,000 円を交付した。

## 1 2. 各種全国大会後援関係

### 後援大会

- (1) 全日本大学準硬式野球選手権大会
- (2) 全国専門学校軟式野球選手権大会
- (3) 全国高等学校軟式野球選手権大会
- (4) 全日本ろう社会人軟式野球選手権大会
- (5) 全国高等学校定時制通信制軟式野球大会
- (6) (社)少年軟式野球国際交流協会世界大会、全国中学生軟式野球大会
- (7) 全日本大学女子野球選手権大会
- (8) 全日本女子軟式野球選手権大会
- (9) 全国青年大会
- (10) 全日本古希軟式野球大会
- (11) 全日本シニア軟式野球選手権大会
- (12) 全日本実業団野球全国大会
- (13) 全日本選抜還暦軟式野球大会
- (14) 全日本還暦軟式野球選手権大会
- (15) 全日本早起き野球大会
- (16) (社)全国野球振興会全国草野球トーナメント

### 13. ルールブック頒布

(1) ルールブック

登録チーム、役員、他に 59,959 部を有償頒布した。

(2) 競技者必携

登録チーム以外に、461 部有償頒布した。

### 14. 全日本学童大会優勝チームの海外遠征(第3回ジュリアン・ユースカップ香港ベースボールチャンピオンシップ)

香港にて開催された本大会に学童大会優勝チーム福岡県支部の「庄内ジャガーズ」が出場した。本連盟として初めての国際大会参加であったが、チームは見事優勝し、今後の国際交流・普及事業の展開に向け有意義な大会となった。

期 日 12月25日～30日

団 長	大 山 則 夫	( 全 軟 連 専 務 理 事 )
役 員	横 溝 直 樹	( 全 軟 連 技 術 委 員 )
	吉 岡 大 輔	( 全 軟 連 事 務 職 員 )

成 績

予 選	日 本	19	対	0	廣 州 (中国)
〃	日 本	12	対	0	高 雄 (台湾)
〃	日 本	20	対	0	北 京 (中国)
準決勝	日 本	15	対	0	深 圳 (中国)
決 勝	日 本	2	対	1	高 雄 (台湾)

尚、遠征費用については一部費用をチーム負担とし、マクドナルド・フレンドシップベースボールの代替として日本マクドナルド(株)及び全日本少年野球振興会より助成を受けた。

平成20年度のマクドナルド・フレンドシップベースボールは中止の決定を受けている。

### 15. 連盟ホームページについて

昨年度より引き続き各種全国大会において試合速報を配信し、高円宮賜杯大会については全試合、天皇賜杯大会についてはベスト8以上の試合で動画の配信を行った。

平成20年3月よりホームページリニューアルの予定。

### 16. 軟式ボール付ミニバットストラップの販売について

この収益金の全てを軟式野球の海外普及の目的に使用する事とする。

## 17. 国民体育大会参加資格について

(財) 全日本軟式野球連盟規程細則の一部改訂

(国体の出場資格)

第5条 連盟の定める規程、規程細則、競技者規程、競技者規程細則のほか、国体に関する出場資格等について定める。

- 2 国体の種別は、成年男子とする。
- 3 参加資格は、連盟に登録しているチーム及び選手。または、連盟に登録されていないチーム及び選手であっても、連盟の定める規定を遵守する承諾書を末端支部を経由し支部に提出することにより仮登録とみなし、出場することができる。ただし、外国人の出場資格要件については、国体実施要項総則の定めによる。
- 4 高校年齢層の生徒は、出場することができない。
- 5 年齢に関する基準は、その年度の4月1日を基準日とする。
- 6 参加しようとする当該年の前年、前々年の大会（都道府県大会およびブロック大会を含む。）において選手及び監督の資格で参加した者は、次の場合を除き、前年、前々年と異なる都道府県から参加することはできない。
  - (1) 前年度に学校教育法第1条に規程する学校を卒業した者。
  - (2) 結婚又は離婚に係る者。
  - (3) ふるさと選手制度を活用する者。
- 7 チーム編成については国体実施要項・軟式野球競技に定める他、次のとおりとする。
  - (1) チーム及び選手は、毎年出場することができる。
  - (2) 元職業野球競技者で連盟が認めた選手は、競技者規程細則第6条第1項第1号の規定を適用する。

(国体の予選会等)

第6条 国体の予選会を行う場合は、末端支部予選会より実施しなければならない。

- 2 変更なし
- 3 変更なし
- 4 変更なし